

大雪山国立公園の特徴・シンボル・利用体験

大雪山国立公園の特徴(アンケート結果より)

分類	回 答
名称・社会条件	・名前が北海道の冬(雪が積もって景観が良くなる)とマッチングしていること
	・総称の「カムイミントラ」
	・広大な面積。日本最大の山岳公園
	・大陸的な広がりを持つ国内公園中、最も広大な高山地域。
	・百名山が3つある(旭岳・トムラウシ・十勝岳)
	・高山植物、ナキウサギ、ウスバキチョウ等の希少な野生動植物が生息する生態系や、大雪山旭岳といった雄大な風致景観が、自然公園法の国立公園という制度の下で管理されているという点
	・人の出入りが制限されている環境
	・殆どが国有地
自然性	・大雪山の自然は四季によって明確な変化があるところ
	・厳しい自然環境／自然の脅威も感じることが出来る
	・空気がきれい／きれいな水を与えている／木が大きい
	・人の居住がほとんど無く、営業行為も公園の活用に関連する事業者が主体であること。
	・原始の環境や生態系が保全されていること／人工物がほとんど目に入らない景観／手つかずの広大な自然(お鉢平、トムラウシ周辺、白雲岳周辺等々)／手つかずの自然に恵まれた風光明媚な景色
	・手つかずの自然が多い
	・貴重な手つかずの自然が多く残されていること
	・原始的な山岳環境／原始性のある自然環境
地形・地質	・大雪山は石狩川の源である。
	・「日本の滝百選」に選ばれた銀河・流星の滝
	・湖沼／然別湖／森に囲まれた糠平湖／高原湿原
	・数々の高層湿原、高山湖沼群(原始が原、五色ヶ原、黄金が原、沼ノ原など)
	・三国峠にある分水嶺(十勝、石狩、北見)
	・白雲岳、高根ヶ原一帯の構造土
	・断崖・絶壁等雄大な自然を実感できること
	・層雲峡独特の柱状節理
	・カルド地形、火山、永久凍土など地質的に豊か
	・積雪時における雪質(パウダー)とその積雪量(永久凍土等)
動植物	・高山帯の動植物
	・豊富な植物・動物相、高山植物群落規模が大。
	・多様な動植物を観察できる(身近に触れあえる)
	・多様な生態系
	・低高度に高山系動植物が生息
	・ナキウサギ・ミヤベイワナなどの珍しい生き物、固有種、天然記念物が多い
	・地域特有の生物(鳥、動物、昆虫など)
	・高山植物と野生動物の共存
	・高山蝶(ウスバキチョウ)と高山植物(コマクサ)の関係。
	・多様な生態系が維持されている
	・野生動物が多い
	・ヒグマの生息地
	・広大なお花畑(五色ヶ原、高根ヶ原、化雲平、黒岳7合目)
	・お花畑が近い距離で楽しめること。
	・初夏の花々。
	・花の美しさ。
	・登山道の花々には心を癒されます。特にチングルマ、チシマノキンバイソウ、ミヤマリンドウ、コマクサ等が素晴らしい

分類		回 答
動植物		・希少種の存在
		・貴重な生物を観察できること(ナキウサギ・ウスバキチョウ・クモマベニヒカゲなど)
		・ナキウサギなど氷河期の生き残り(遺存種)が生息していること。
		・固有の動植物多いこと
		・公園内に生息する様々な野生動物。
		・野生動物や高山植物を見られること
		・鬱蒼とした原生林、北方針葉樹林帯
景観		・2,000m級の山々とその景観／四季折々の大雪山系の表情
		・自然の景色。景観に合わせた様々な人工物との見事な調和
	山岳景観	姿見の池に映る旭岳の景観／旭平周辺／こまくさ平周辺／十勝岳雲の平から望む旭岳／朝陽山(パノラマ台)から見た黒岳／糊岳の景観／湖水に映る旭岳／お鉢平周辺の雄大でなだらかな山並み／黒岳山頂から見た御鉢平の一望と北鎮岳の自然の眺望、お鉢めぐり／トムラウシ、旭岳、白雲岳山頂からの全景／五色ヶ原から見た花畑とトムラウシ／沼ノ平などの湖沼群／高根ヶ原から見える雄大な山の風景／沼ノ原、大沼から見たトムラウシ山
	山麓景観	大雪ダム／層雲峡から大函までの景観(柱状節理及び滝等の景観)／タウシュベツ川橋梁から見るニペツ山
	遠景	富良野側から見た柔らかな稜線の優雅な山岳風景／国道237号線旭川・美瑛から見た険しい稜線の勇壮な山岳(大雪山連峰)／春の十勝平野から見た青い空に生える稜線／ゆるやかに広がる高原、またその近隣のまちからの展望
	季節の景観	秋の雄大な紅葉、鮮やかな紅葉(大雪山連峰／高原温泉／銀泉台／裾合平／黄金ヶ原赤岳／層雲峡等)／雪と融和した景観
利用	様々な景観	春から初夏にかけての下界の緑と大雪山の白のコントラスト／雄大な自然と雪渓のコントラスト／山と高山植物のコントラスト／様々な角度からの景観／日本離れした景観が多い／北海道らしい美しい景観／霊山碧水(現・層雲峡のこと)天下無双である／北海道に住んでいると、特殊性はあるにせよ他のどこにでもある風景のため、国立公園らしいという認識はあまり感じられません／エゾマツ・トドマツを主体とした針葉樹林が広がった広大な森林景観／壮大な火山的景観と、噴煙
		・北海道を代表する大自然を体験できること
		・雄大な自然の側まで近づくことができる
		・四季折々の顔が見れる自然環境、四季を通じて自然を体感出来る
		・夏は登山、秋は紅葉、冬はスキーと一年中楽しめる公園
		・四季により様々な表情の自然が味わえる(残雪、新緑、高山植物、紅葉、冬山)
		・登山が気軽に楽しめること
		・山麓にある多くの温泉街を根拠地とした登山等が楽しめること
		・縦走が楽しめること
		・登山ルートが多数あること、縦走ルートが多数あること、バリエーション豊富な登山道網
		・さまざまなレベルに合わせてトレッキングが楽しめること
		・温泉が楽しめること(層雲峡／白金／天人峡／旭岳等)
		・風情のある天然の温泉がたくさんあること
		・山スキーが楽しめる。／山スキーをパウダースノーで楽しめる
		・人がアウトドアを楽しむながらも自然に配慮していること
		・知っている者なら、手つかずの自然に対して比較的容易にアプローチできる
		・ロープウェイ、リフトが整備され子供・老人でも登山気分が味わえる
		・索道、登山道等が整備され、気軽に自然にふれあえること
		・登山基地
		・山小屋が旅館的でなく簡便な施設であること
その他		・山域が4箇所に分かれ、それぞれが個性ある特徴を持っている。
		・地元の人がか大切にしている
		・ゴミがない

大雪山国立公園のシンボル・大雪山らしさ・大雪山への期待
(アンケート結果より)

分類	1-② シンボル	1-④ 大雪山らしさ	2-② 大雪山への期待
問	大雪山のシンボルは何か、と聴かれたらどのように答えますか	これが無くなったら「大雪山らしさ」が失われてしまう、と思われるものは何ですか	大雪山にはどういうことを期待して来訪されましたか
動植物	・稀少(固有)な動植物 ・高山蝶(ウスバキチョウ) ・シマフクロウ、キンメフクロウ、ナキウサギ、ミュビゲラ、ヒグマ、エゾシカ、キンザンマシコ ・動物が生息している聖域であること ・広大な高山植物群落 ・コマクサ・エゾコザクラ・トリカブト ・裾合平や五色ヶ原などの広大なお花畑	・広いお花畑 ・多様な植物の生息環境 ・高山植物帯 ・ヒグマとの共生 ・花のにおいでむせかえり、ミツバチの羽音が聞こえる空間	・高山性動植物の観察 ・エゾマツと春の花
地地質形	・山麓の広大な原生林(三国峠から十勝三股の眺望・旭岳山麓の針広混交林等) ・雪渓、残雪、永久凍土、ツンドラ地帯 ・北海道の大河・石狩川・十勝川の源流であること ・北海道の中心にある日本で一番広い大山岳国立公園であること ・豊かな自然と原始性 ・クワウンナイ川などの美しい沢 ・旭岳、トムラウシ、十勝岳、ニベソツ山、オプタテシケ ・旭岳が反映されている夫婦池と姿見の池の壮大さ ・三国峠 ・化雲岳からトムラウシ山に至る稜線上の日本庭園 ・トムラウシの沼 ・お鉢平 ・金庫岩	・雪渓	
景観		・自然の風景、清潔感 ・美しい景観 ・原始性	・各種山岳の眺望
四季	・秋の紅葉(特に赤岳、高平温泉) ・四季の美しさ、雪渓模様、紅葉、冬景色、高層湿原と高山湖沼群の変化 ・黒岳と朝日岳、四季を通してのロープウェイからの眺望 ・春の花、紅葉、初雪が同時に見れる		
利用	・不便であることが魅力 ・旭岳・層雲峡のロープウェイ ・温泉(主な入り口には必ず温泉がある)(層雲峡温泉、天人峡温泉)		・登山道の散策 ・お風呂に入る
その他	・土幌線の廃線跡 ・大雪山のおかげで農業は盛んで「うまい食料」の供給基地である ・北海道で一番高い山があり、大雪山という名の山がないこと	・静寂さ	・人との出会い ・自然を残して欲しい

大雪山国立公園の利用体験(アンケート結果より)

分類	1-③	2-③	4-②
問	大雪山に来る方にはどのように自然を満喫して欲しいですか	大雪山の自然を満喫する際に、「これが足りない」「こんなものがあればよい」と思われたものはありましたか	大雪山の自然を満喫するには、どこでどのようにすることが考えられますか
観察	・花や鳥を見て山々の自然を大切に思っ て欲しい ・四季折々の広大な自然を体感し、貴重な動植物をじっくりと観察する		
観賞	・下界では見れない山の花々 ・スケールの大きなお花畑 ・多様な高山植物との出会い ・秋の紅葉 ・写真を撮りながらなど余裕を持って山を行き来して欲しい		・五色ヶ原の雄大なお花畑 ・トムラウシ周辺の豊かな高山植物を満喫する ・動植物の採捕は行わないよう指導 ・層雲峡の紅葉を眺めること ・時期によって異なる多様な花を探し歩き、写真を撮ること
眺望	・旭岳の頂上に立って欲しい。 ・雄大な山岳景観 ・原始林、樹海		・層雲峡を眺めること ・ロープウェイからの眺望を楽しむ ・街からの山の姿を遠望
登山	・赤岳登山、高原沼・姿見平一周 ・山岳公園への登山で御鉢平の大パノラマを紹介したい ・黒岳に登ることで植物の移り変わりの水垂分布を実感して欲しい ・大雪山山系に登り、自然の大切さを感じ取って欲しい ・縦走登山をする ・装備を整え入山し、自然の厳しさも学習して楽しんで欲しい。 ・時間を充分使って大雪山中央圏まで観て頂きたい。 ・ルートを守って山の広さを知ってほしい ・ゴンドラ・リフトを使わずに山域を楽しむこと ・残雪期にスキーやスノーシューを利用しての縦走、トレッキング ・東大雪山系で大自然に接してみたい ・欲しい		・十勝岳～トムラウシ～旭岳を縦走 ・山の大きさを感じるために縦走すること ・花の時期の登山 ・黒岳周辺からトムラウシまで、のんびり歩くこと ・遊歩道の散策 ・自然道を歩き、新緑や紅葉など季節を肌で感じる
キャンプ	・トムラウシに登り近辺で泊まる ・山中泊して夕焼け、星空、朝焼け、風邪の音を楽しんで欲しい ・ヒサゴ沼でキャンプして過ごす	・山小屋の数が少ない	・ヒサゴ沼でキャンプして付近の自然を探索する。 ・テント泊して、ゆったりとした時間の中で自然を楽しむこと
滞在	・滞在して温泉に入り、山に登り、高山植物(お花)を見て欲しい ・旭岳温泉、層雲峡温泉に泊まり、ゆとりをもって雄大な大雪を感じる ・気に入った所を十分に堪能するため滞在してもらう ・大雪山に点在する温泉		・温泉に入ること
その他	・東大雪博物館で歴史、概略を知り、ネイチャーツアーに参加し、大雪を深く知って欲しい ・山の歴史や地域の人々とのつながりなどを見て欲しい ・『見させていただきます』という謙虚な姿勢であって欲しい ・風景や高山植物を観ての食事 ・旭岳ロープウェイで姿見の池か黒岳ロープウェイで5合目	・生物、地質に関する案内板を多く設置して欲しい ・旭岳、黒岳に向かう旭川からの早朝バス	・外来種の侵入を防ぐため、登山の前には靴の裏の土を払うよう指導 ・ゴミの持ち帰りを指導する ・登山道入り口での案内や、登山ガイドなどの協力による普及啓発